

# 学習課題(小学校4年生)



## 【国語】

### <学習内容>

◆「ごんぎつね」を学習します。教科書⑩11 ページを見て、学習の見通しをもちましょう。

(1) 教科書 12～29 ページ「ごんぎつね」を読んで、ノートや取組シートに感想を書きましょう。

※物語の結末についてどう思ったかについても書きましょう。

(2) 「ごん」はどんなきつねでしょう。自分の考えを「〇〇（な）きつね」と短くノートや取組シートに書きましょう。また、本文のどこからそのように考えたか、<sup>こんきよ</sup>根拠となる言葉や文も書きましょう。

### 「〇〇（な）きつね」

※〇〇には、人物を表す言葉を入れます。教科書⑩157 ページには、「ゆうかん」、「熱心」、「たのもしい」など人物を表す言葉の例がのっています。このページにのっている言葉以外にも、「やさしい」「おこりっぽい」など人物を表すいろいろな言葉があるので、ごんを表すぴったりの言葉を考えてみましょう。

(3) 1～6 の場面を読んで、「ごん」が「兵十」にしたことと、そのときの「ごん」の気持ちをノートや取組シートにまとめましょう。

※教科書 30 ページの例や下の表を<sup>さんこう</sup>参考にしましょう。自分なりに、まとめ方を工夫してもよいです。

(4) 6 の場面を読んで、「兵十」が知ったことと、そのときの「兵十」の気持ちをノートに書きましょう。

(5) お話を通して「ごん」と「兵十」の気持ちにどのような変化があったかを考え、ノートや取組シートに書きましょう。

※(3)(4)でまとめたことや書いたことをもとに考えてみましょう。

	1	場面
	村の小川	
う。 文でまとめましたことは、短い	兵十のとった魚やうなぎにいたずらをした。	「ごん」が「兵十」にしたこと
う。 「ごんは」という文に注目したり、文末の「思いました」「考えました」が入っている文を見つけて読んでみましょう。	ちよつといたずらがしたくなつた。	そのときの「ごん」の気持ち

- (6) 「ごんぎつね」には、情景や場面の様子が目に浮かぶような表現が出てきます。見つけてノートに書きましょう。また、その表現からどんなことが分かるか（考えられるか）も書きましょう。

**【例】**空はからっと晴れていて、もずの音がキンキンひびいていました。（13 ページ6行目）

※こうした表現は、景色だけではなく、そのときの登場人物の気持ちを表すことがあります。

- (7) 「ごんぎつね」をくわしく読んで、分かったことや感じたことをもとに、物語や人物についての考えを自分なりにまとめ、おうちの人に聞いてもらいましょう。

※まとめるときのテーマの例

- ・「ごん」のつぐないの気持ちは、「兵十」にとどいたか。
- ・物語の結末をどう思うか。



- (8) 教科書 32 ページ上段の「たいせつ」を読み、学習のポイントを確認したり、下段を読んで作者についても確認したりしましょう。  
※機会があれば、新美南吉さんの他の本も読んでみましょう。  
(教科書 33 ページにも紹介されています。)

◆教科書⑩36～41 ページで学習する漢字（司～極まで）をノートに練習します。(読み方や書き順は、教科書⑩157～158 ページにのっています。)

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・物語をどう読むか、正解は一つではありません。4年生の今、「ごんぎつね」をどのように読みどんなことを考えたか、自分なりに根拠（本文のどの叙述からそう考えたか）をもって考えられることが大切です。可能であれば、「ごんぎつね」について感じたことや考えたことを話し合ってみてください。新しい発見ができて、学びが深まるきっかけになるかもしれません。
- ・「ごんぎつね」は長いお話です。2週間で無理なく計画的に進められるよう、声かけをお願いします。